

# 教えて!

## 富山 けいざい



### DMOってなあに？

◆観光地域づくり法人、効果的な施策かじ取り

Q－ブン子さんは北陸経済研究所の藤貴伸研究員に聞きました。DMOってなあに？

A－DMOは、Destination Management Organization の略で、観光資源に精通し、地域の関係者と協力して観光地域づくりを行う法人を意味します。欧米の観光先進国では、DMOが各種調査や戦略の策定、マーケティング、商品開発、プロモーションなどで大きな役割を担っています。



Q－どんなことが期待されるの。

A－多様な観光産業関係者を巻き込み、地域一体となって観光地域づくりに取り組む体制の構築や、各種データに基づいた効果的な観光施策の実施など、従来とは異なる新しい観光地域づくりのかじ取り役としての役割が求められています。

Q－全国でも動きはあるの。

A－近年、DMOを組織する動きは広がっています。先進事例では、瀬戸内の7県や地方銀行を中心とした民間企業によって組織された「せとうちDMO」が有名です。このDMOでは、2020年までに外国人延べ宿泊者数360万人にするという目標を掲げ、官民一体となって観光マーケティングやプロモーションを行っています。

Q－国の後押しは。

A－観光庁では一定の基準を満たした法人を日本版DMOとして認定し、さまざまな支援を行う「日本版DMO登録制度」を設けています。県内では、とやま観光推進機構（高木繁雄会長）が登録され、黒部・宇奈月温泉観光局（川端康夫代表理事）も候補法人となっています。この2法人以外にも県西部の6市でDMO形成を目指す動きが出ています。

Q－課題は何かしら。

A－「財源」と「人材」をいかに確保するかが重要なポイントです。各DMOは、旅行者を受け入れる地域で作られる「着地型旅行商品」や地域の名産品を販売するなど、収益事業に努めることで補助金に過度に依存しない、自立した運営を目指しています。またDMOの肝であるデータ収集・分析を担う専門人材が不足しているため、各法人は人材育成に力を入れているようです。